

# 昭和電工株式会社東長原事業所 CSRサイトレポート2022



新しくなった旭ダム管理所(右上)と旧管理所(中央)

# トップメッセージ

昭和電工(株)東長原事業所は、1932年(昭和7年)より、会津の豊富な水系を利用した水力発電を活用して、多種多様な化学製品の製造を行ってまいりました。約90年にわたる事業所の事業活動に対して、皆様のご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

当社は2023年1月に昭和電工マテリアルズ(株)(旧日立化成)と統合する予定です。私たち(当社グループ)は新統合会社のパーパス「化学の力で社会を変える」という理念の下、グローバル社会の持続可能な発展に貢献し、「世界トップクラスの機能性化学メーカー」の実現に向けて活動しております。

東長原事業所におきましても、地域の皆様やお客様をはじめとする全てのステークホルダーから信頼され、親しまれる事業所を目指して、社会が抱える問題の解決に役立つ製品やサービスを提供すると共に、温室効果ガス等の環境負荷物質の排出削減や再生可能エネルギー・グリーンエネルギーの積極的活用、資源の再生利用や廃棄物の削減など様々な取り組みを進めています。

また、地元の小学校への出前授業や工場見学など各種イベントを通じて、地域の皆様との関わりを大切にすると共に、献血運動やアルミ缶リサイクルを通じたボランティア活動などにも精力的に取り組んでいます。

この「東長原事業所CSRサイトレポート2022」は、東長原事業所における2021年から2022年にかけてのCSRに関わる取り組みをまとめたものです。

皆様に当サイトレポートをご一読いただき、率直なご意見やご感想をお寄せいただけますと幸甚に存じます。



東長原事業所長 西村 智文

## トピックス

### ■ 旭ダム新管理所竣工！

東長原事業所が管理する旭ダムの管理所は、昭和10年に旭ダムや湯野上発電所と同時に建てられた建物で老朽化が進み、河川の増水の際には浸水や流失の危険がありました。そこで、までより高い敷地への移転を兼ねて、2021年4月に新管理所の建設工事に着工しました。

工事は無事故無災害で無事9月に完了し、関係者の方々への感謝の気持ちと新管理所の披露、末永い繁栄を祈願する竣工式を10月14日に執り行いました。

竣工式には設計管理担当の昭光通商株式会社様、工事施工業者の三立土建株式会社様、旭ダム運転管理委託先の株式会社ローズ・ビルサービス様にご参列頂き、神官による水の恵みへの感謝と安全安定運転を祈願しました。

新管理所は現在は本格的に運用を開始し、旧管理所は取り壊さずに旭ダムへ見学に来られた方の展示スペースとして活用していきます。

今後も地域の方々とのコミュニケーションを取りながら情報発信の中心になり、より地域から信頼される旭ダム・湯野上発電所を目指し、安心安全運転に努めて参ります。



新管理所(右上)と旧管理所(中央)



新管理所



竣工式の様子



# 安全 の取り組み

■目標！休業災害・不休災害ゼロ！

## ■安全衛生方針

### 東長原事業所 安全衛生方針

昭和電工株式会社東長原事業所は、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての安全と健康の確保が企業活動の基盤であるとの認識のもと、安全、健康で快適な職場を実現するため、次のとおり安全衛生方針を定める。

また、この方針の実現のため、従業員、協力企業従業員、その他の関係者全ての協力を求め、事業所の安全衛生活動を推し進めていくものとする。

#### 基本方針

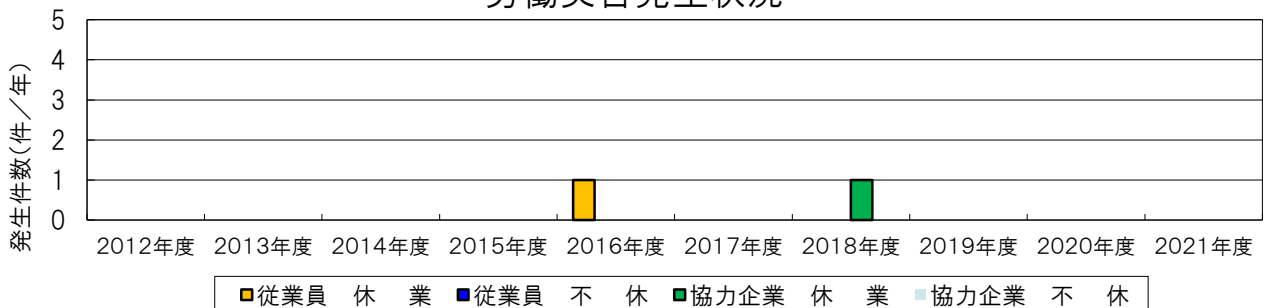
1. 安全最優先を徹底し、事故・災害ゼロを継続する。
2. 働く環境を改善・維持し、業務上疾病ゼロを継続する。
3. 全員参加による安全衛生活動を推進する。
4. 相互注意の精神を大事にし、職場の仲間を事故・災害から守る。
5. 従業員一人ひとりが心身共に健康で生き活きとした職場環境の実現を図る。

## ■東長原事業所 従業員・協力企業の災害発生状況

2018年は、湯野上発電所の工事作業において協力企業従業員の熱中症による休業災害が1件発生しましたが、それ以降、事業所で働く人一人ひとりが、災害を絶対に起こさないという強い思いをもって安全活動に取り組んだ結果、2020年に続き、2021年も無災害を達成することができました。

今後も無災害を継続するため、従業員一丸となって安全活動に取り組めます。

### 労働災害発生状況



■2021年度集計期間：2020年12月16日～2021年12月15日

## ■全国安全週間の取り組み

安全に対する意識と職場の安全活動をより一層向上させる取り組みの1つとして、毎年全国安全週間に合せ事業所内各企業11社と協同で、安全ピラの配布を実施しています。

労働災害を減少させるには、事業者・労働者双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、それらを遵守・実行するための時間的・人的余裕のある業務体制を構築することが重要です。

守るべきルールを確実に遵守し、労働災害防止を図ることを改めて周知しました。



安全ピラ配りの様子

# 環境負荷削減 の取り組み

■ 社会・環境との調和

## 環境方針

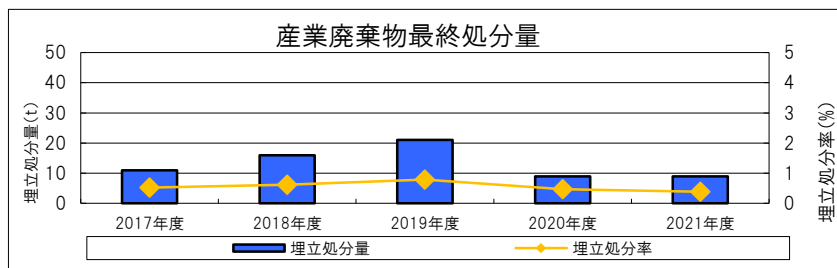
### 社会・環境との調和

#### 行動指針

1. 東長原事業所は、市民の一員としての自覚をもち自然と地域との共生をめざすとともに、生物多様性および生態系の保護に努める。
2. 化学製品の設計から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの段階で廃棄物や環境負荷の削減、省資源、省エネルギー、持続可能な資源の利用等環境保全に配慮した活動に努める。
3. 東長原事業所の活動が環境に及ぼす影響を認識し、継続的な改善と汚染の予防、気候変動への適応に努める。
4. 環境に関する法規制およびその他の要求事項を遵守するため、自主管理基準を設定し、環境の保全に努める。
5. 具体的な目的、目標を明確にして環境管理活動を推進し、状況の変化を反映させるべく定期的に見直しをする。

## ゼロ・エミッションの取り組み

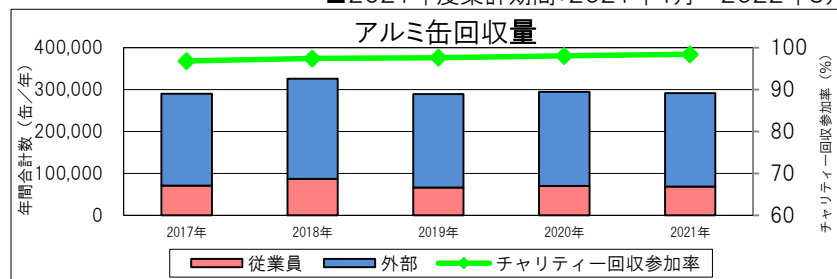
当事業所は、ゼロ・エミッションの取り組みを行っています。2020年度より、最終埋立処分率を1%から0.5%以下になるよう目標値を上方修正し、最終埋立処分量を削減することができました。  
※ゼロ・エミッション：最終埋立処分量を全産廃発生量の目標値(0.5%)以下にする



■ 2021年度集計期間：2021年4月～2022年3月

## アルミ缶リサイクル活動

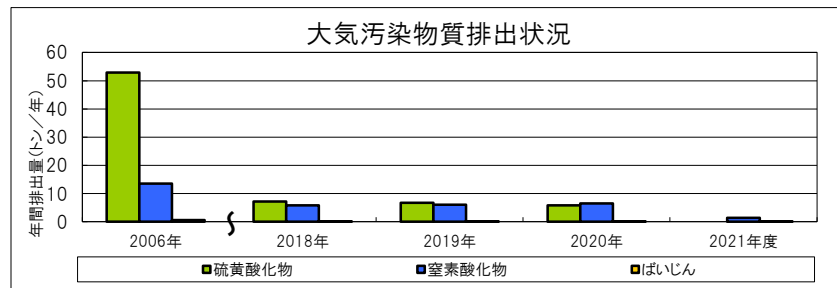
アルミ缶をリサイクルすると、原料から新たに地金を製造する際と比較して、97%ものエネルギーを削減できます。当活動では、外部からのアルミ缶持ち込み回収の他に、従業員には回収収益金による寄付を目的としたチャリティー回収に参加してもらう取り組みをしています。収益金は地域の福祉団体等へ寄付されます。



■ 2021年度集計期間：2021年1月～12月

## 大気汚染物質排出状況

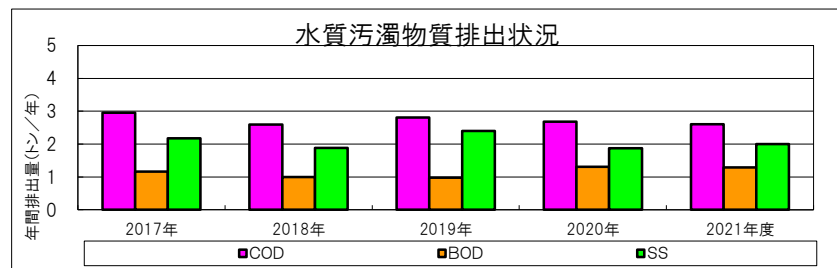
ボイラーの燃料を2007年にはA重油に、2021年にはLNG(天然ガス)に変更するとともに、高効率蒸気ボイラーを導入しました。  
LNGへの変更により、硫黄酸化物の排出量がゼロとなり、窒素酸化物とばいじんの排出量も削減することができました。



■ 2021年度集計期間：2021年1月～12月

## 水質汚濁物質排出状況

製造工程で発生する廃液は専門業者に廃棄物処理委託をしているため、河川に放流する排水は、主に工程で使用する冷却水や洗浄水となります。水質汚濁物質の排出量は生産活動に応じて変化しますが、末端排水口での管理濃度に関しては、法定基準より厳しい自主管理値を設定して維持・管理をしています。



■ 2021年度集計期間：2021年1月～12月

※COD：化学的酸素要求量 BOD：生物学的酸素要求量 SS：水中に浮遊している物質

# 防災 の取り組み

■ 事故・災害に備えて

## ■ 総合防災訓練

事業所内で火災・爆発・有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事業所内各企業と共同で総合防災訓練を年2回(春・秋)実施しています。これは、より大きな事故への拡大防止、消防署・警察署・近隣への通報連絡、避難誘導、負傷者救助・応急処置等を確実にを行うことを目的としており、会津若松消防署十文字出張所にもご協力いただいています。

2021年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して、IC課と非常時組織本部班のみが参加した訓練を行いました。小規模での訓練のため、通常時には行わない屋外消火栓からの放水訓練を行う等の工夫をしました。

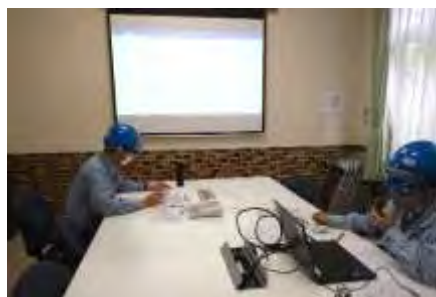
万が一に備えて、迅速に初期対応が実施できるようこれからも訓練を継続していきます。



IC課CCRの様子



消火訓練



非常時組織本部班

## ■ 応急手当推進事業所

当事業所には緊急時に救急車が到着するまでの間、応急の救命措置のできる従業員がいます。またAED(自動体外式除細動器)を場内企業と共同で設置し、応急手当推進事業所にも認定されています。2013年から湯野上発電所にもAEDを設置しています。2020年から新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでしたが、毎年春季総合防災訓練終了後、会津若松消防署十文字出張所による普通救命講習を受け、心肺蘇生法とAEDの使用方法について学んでいます。

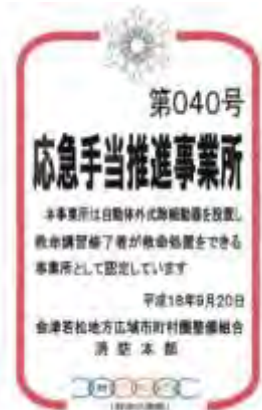
※写真は2019年実施時



十文字出張所職員による実技講習



心肺蘇生法実技講習





# 品質 の取り組み

■ お客様に満足いただける品質の提供

## 品質方針

### お客様の満足する品質の提供

- ・品質に関するお客様の情報を共有し、スピーディーに対応する。
- ・品質目標を定め、品質の維持向上を計画的に展開する。
- ・コンプライアンス意識を高く保ち、ルールを確実に守って業務を遂行する。
- ・コミュニケーションを深め、お客様の要求に適合した製品を提供する。
- ・従業員全員で品質マネジメントシステムを維持し、継続的に改善する。



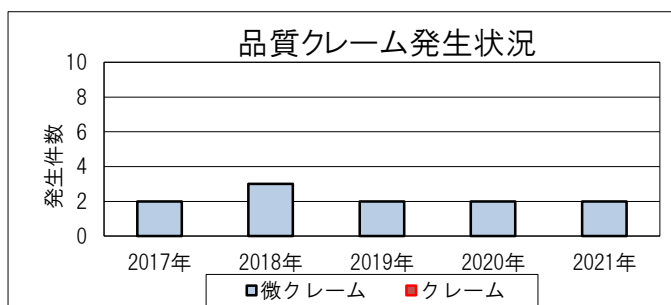
ISO9001 認証書

## 品質マネジメントシステム

当事業所は1995年7月にISO9001の認証を受けました。お客様に満足していただける製品品質を提供するための仕組みを構築し、継続して改善を行っています。

## 品質クレームの発生状況

様々な品質活動を通じてお客様からのクレームをゼロにするための取り組みを続けています。軽クレーム(補償金が発生するレベル)以上についてはゼロを継続し、微クレーム(補償金が発生しないレベル)については是正策を立案し、事業所全体の品質管理のレベルを上げることで、クレームの撲滅を目指しています。

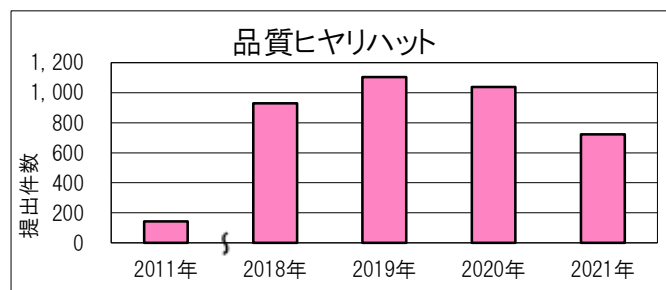


■最新データ集計期間: 2021年1月~12月

## 品質活動

### ●品質ヒヤリハット

品質活動の一つに品質ヒヤリハット活動があります。従業員全員が本活動に参加することにより、品質気づき力を底上げし、品質トラブル撲滅に寄与しています。2011年に活動を開始し、2015年以降は年間700件以上のヒヤリハット提出を継続していますが、2020年より提出件数の減少が見られるため、更なる活性化を目指し、改めて品質ヒヤリハットに関する教育を個別に開始しました。



■最新データ集計期間: 2021年1月~12月

### ●品質月間の取り組み

毎年11月の品質月間に合わせて、品質意識の高揚、品質管理活動の向上の取り組みとして場内企業と共同で品質ピラの配布を実施しています。2021年の品質月間テーマは「今こそ目指そう新たな社会のクオリティ」でした。社会のニーズを的確につかみ取り、お客様に満足いただける品質を提供し続けることで、製品・サービスを通じて社会の課題解決につながる価値を提供できると考えています。引き続きお客様視点での仕組みの構築、改善に取り組んでいきます。



品質ピラ配布の様子

※ヒヤリハット活動: ヒヤリハットは、重大な災害や事故には至らないものの、そのことに直結してもおかしくない一歩手前の事例・体験で、「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたりすることが由来。これを事前に抽出し、対策を取ることで事故を未然に防ぐ活動。

# クリーンエネルギー の取り組み

■水力発電によるSDGsへの貢献

## ■湯野上発電所・旭ダム概要

### 発電所取水フロー位置図

建設:1935年  
認可出力:7,980kw  
最大使用水量:12.5m<sup>3</sup>/秒  
最大落差:約70m



発電で利用した水は阿賀川本線に合流

## ■地域とのつながり

旭ダムと湯野上発電所では、毎年水神祭を開催しています。

水の恵みに感謝すると共に関係会社及び地域の皆様への感謝の目的もあり、旭ダム建設当初から行われている歴史ある行事です。

今後も地域をはじめとする各関係者の方々とコミュニケーションを取りながら、安全安定運転に努めて参ります。



水神祭の様子

### 【ダムカード】



旭ダムについて広く知っていただくためダムカードを作成し、来場いただいた方に管理所でお配りしています。



# 地域 との関わり

## ■ 地域との共生を目指して

### ■ 地域交流

#### ● 納涼祭

事業所内で働く従業員の慰労と、地域の皆様との交流を目的に毎年8月に開催しています。

2019年以来中止となっていましたが、2022年は参加人数の制限やサーモカメラの配置等の新型コロナウイルス感染症対策を取りながら「納涼花火大会」として開催しました。

グラウンドでの子供向けアトラクションの他、大抽選会と例年の3倍の数の打ち上げ花火を楽しんでいただきました。



### ■ 公共的配慮

#### ● クリーンデイ

当事業所では、毎年春と秋の2回、事業所周りの清掃活動を行っています。

地域の皆様のご理解があって事業活動が継続できることへの感謝と、気持ちの良い環境の中で仕事をしたいとの思いから、場内企業と協力企業各社、OBの方々と共同で実施しています。



### ■ 人材育成

#### ● 出前授業

実験を通じて事業所への理解を深め、また化学に興味をもっていただくことを目的に、2010年より小学校等を対象とした出前授業を行っています。

2021年も、地元河東学園小学校5年生へ「ゲルの生成」と「物質の三態」(写真)をテーマとした実験授業を行いました。



### ■ 地域福祉

#### ● アルミ缶リサイクル活動

当社グループを挙げて取り組んでいるアルミ缶リサイクル活動では、地域の福祉団体や学校からの使用済みアルミ缶の持ち込みも受け付けています。

アルミ缶は1缶1円で買い取り、福祉団体の事業資金としてご活用いただいています。また、従業員等からチャリティーとして集めた収益金で社会福祉団体へ物品の贈呈を行い、地域の福祉に役立ていただいています。2023年は掃除機やプリンタ等を贈呈しました。

